

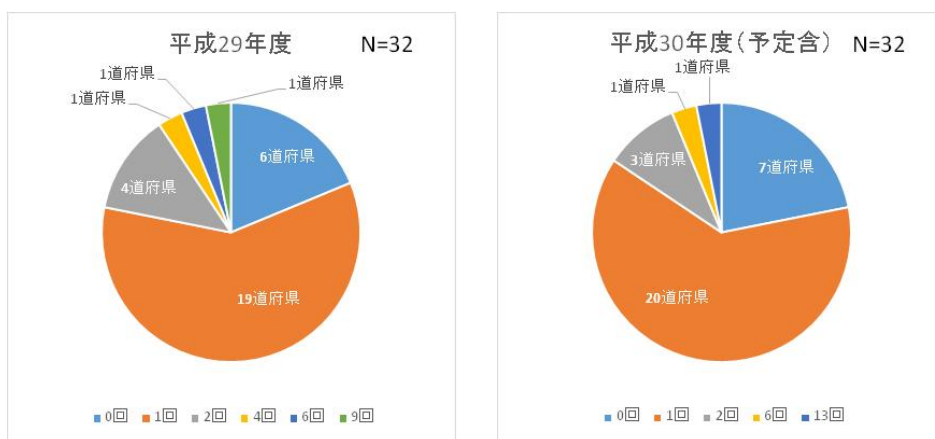
【調査対象とした防災訓練】

- 平成 29 年度及び平成 30 年度実施（予定を含む）の石油コンビナート等防災計画に基づく防災訓練のうち、防災本部の訓練参加があるものを対象とした（最大 4 件まで）。
- 当該年度に防災本部が参加した防災訓練の実施がない場合には、過去に実施した訓練のうち直近のものを対象とした。
- 上記以外の防災訓練で大規模地震等を想定した訓練の一部にコンビナート災害が入っており、かつ、道府県が防災本部の機能を果たしたものとなっている場合（例えば、防災本部内に石油コンビナート班を設置し、必要な活動を行っている）は、対象とした。

1 平成 29・30 年度実施済みの訓練

1-1. 実施回数

平成 29 年度及び平成 30 年度（予定を含む）における防災訓練（防災本部の訓練参加があるもの）の回数を年度ごとに記入してください。



実施回数が 0 回の場合、実施しなかった理由を自由記述欄に記入してください。

【0回の場合、実施しなかった理由】：

- 隔年の実施となっているため。
- 国民保護訓練と共同実施したため。
- 平成 31 年度に実施するため。
- 3 年に 1 度開催としているため。
- 豪雨により開催予定地が被災したため中止した。

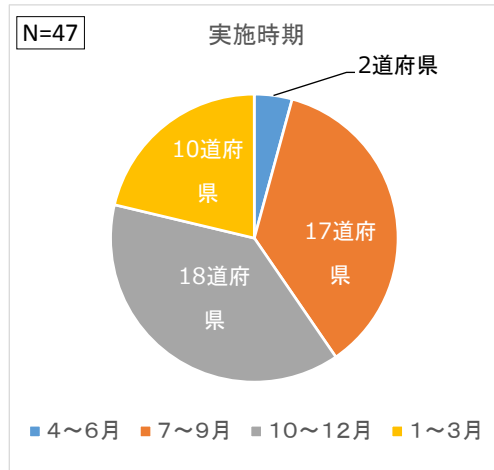
【6回、9回など、回数多いところ】：

- 様々な種別の訓練を組み合わせ実施しているため。

1-2. 実施時期

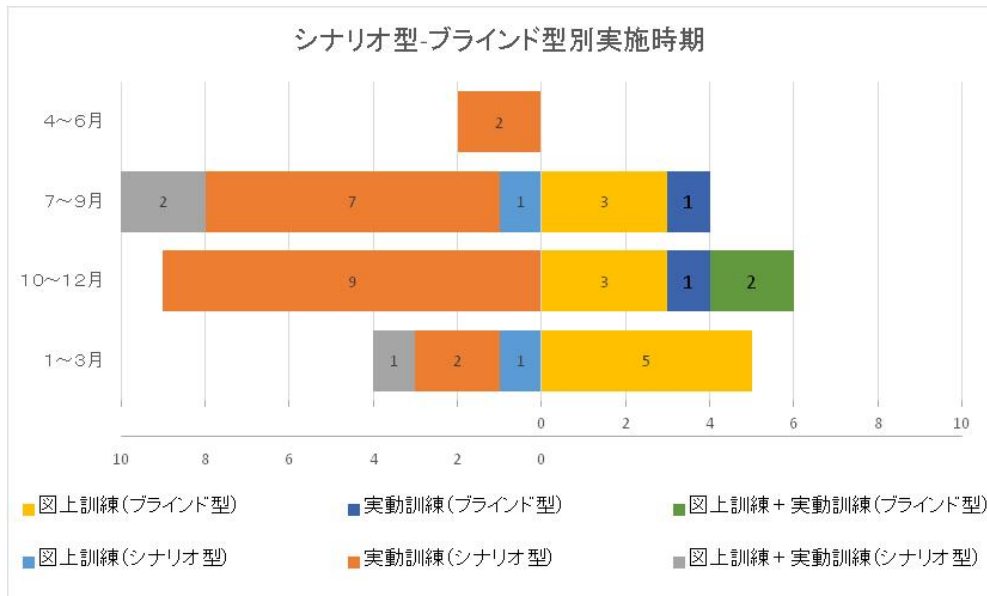
防災訓練実施時期を選択してください。

- 1 : 4～6月
- 2 : 7～9月
- 3 : 10～12月
- 4 : 1～3月



【訓練時期と種別の関係】

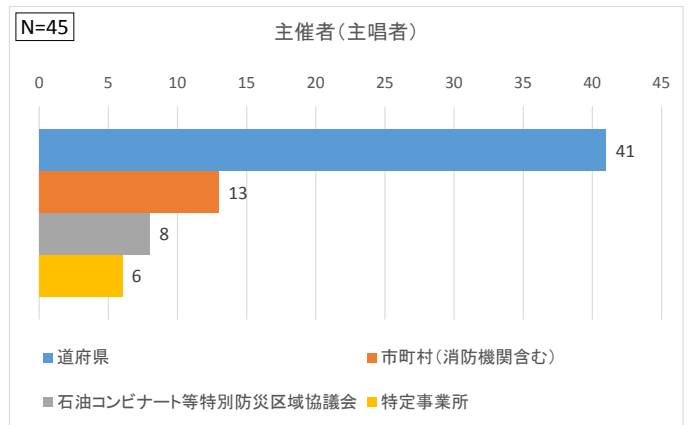
- 4～6月に実施する防災本部が最も少ない。人事異動の時期で、企画・実施が難しいためと思われる。4～6月に実施した2件はいずれもシナリオ型実動訓練であった。
- 実動訓練（シナリオ）は10～12月が、図上訓練（ブラインド型）は1～3月が最も多く実施されている。



1-3. 主催者（主唱者）

防災訓練主催者を選択してください（複数回答可）。

- 1 : 道府県
- 2 : 市町村（消防機関含む）
- 3 : 石油コンビナート等特別防災区域協議会
- 4 : 特定事業所



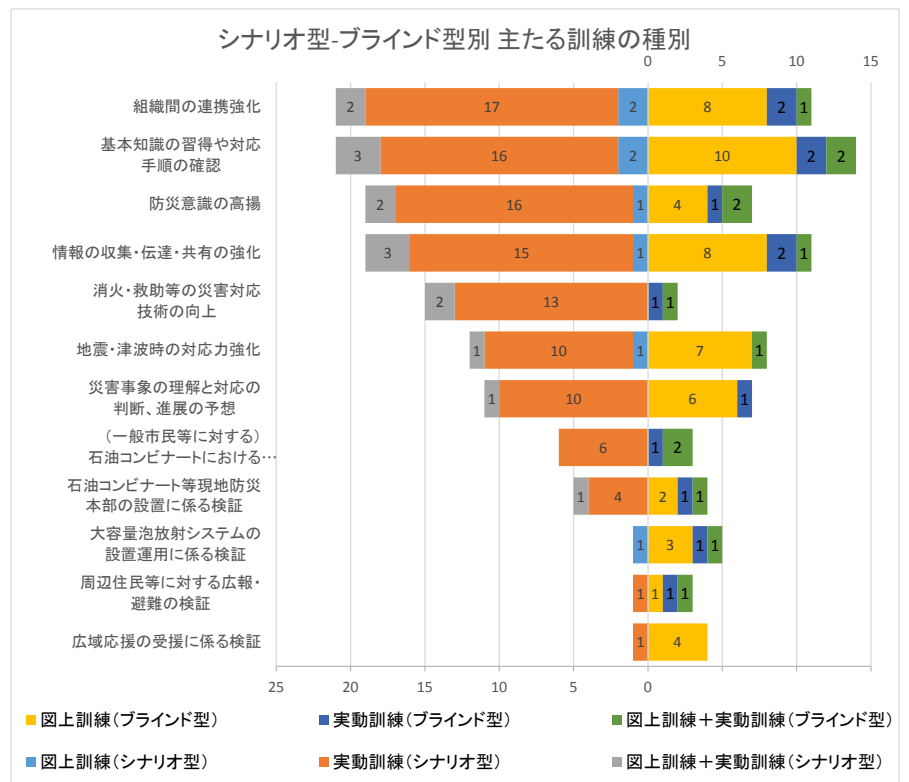
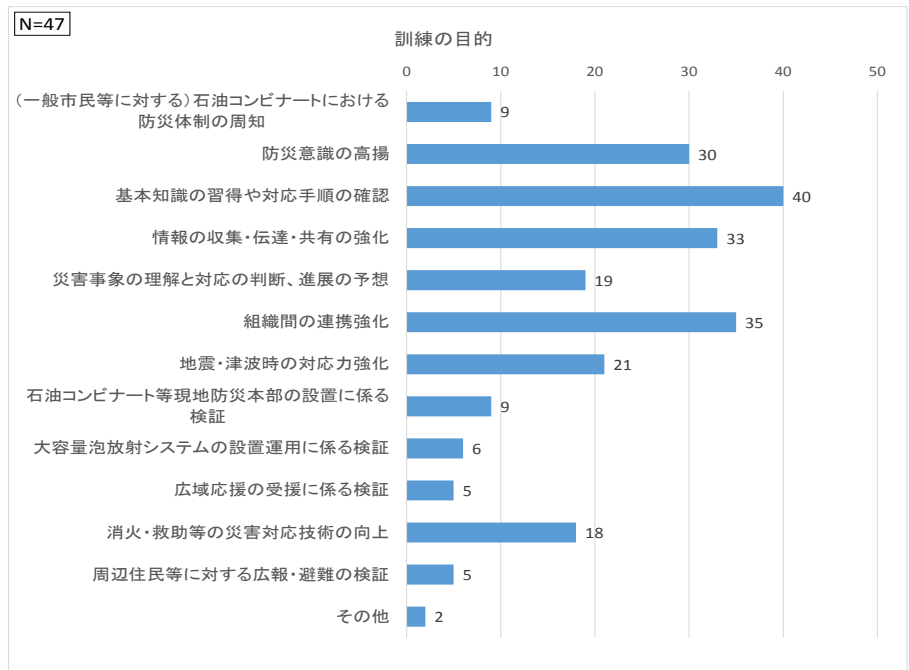
【主催者と訓練種別の関係】

- 道府県主催の訓練は、「図上訓練（ブラインド型）」及び「実動訓練（シナリオ型）」の両方を実施しているのに対して、市町村、石油コンビナート等特別防災区域協議会及び特定事業所は、基本的に実動訓練（シナリオ型）のみを実施している。

1-4. 訓練の目的

防災訓練の目的を下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

- 1：（一般市民等に対する）石油コンビナートにおける防災体制の周知
- 2：防災意識の高揚
- 3：基本知識の習得や対応手順の確認
- 4：情報の収集・伝達・共有の強化
- 5：災害事象の理解と対応の判断、進展の予想
- 6：組織間の連携強化
- 7：地震・津波時の対応力強化
- 8：石油コンビナート等現地防災本部の設置に係る検証
- 9：大容量泡放射システムの設置運用に係る検証
- 10：広域応援の受援に係る検証
- 11：消火・救助等の災害対応技術の向上
- 12：周辺住民等に対する広報・避難の検証



その他の訓練目的がありましたら、自由記述欄に記入してください。

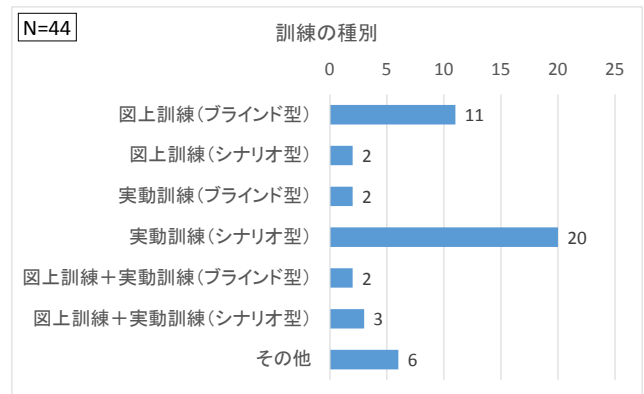
【その他】

- ・ 防災本部機能、業務の確認及び対応能力の向上
- ・ 事故発生時の初期措置の確認及び対応能力の向上
- ・ 防災活動上の安全管理、医療体制の充実強化

1-5. 訓練種別

防災訓練（主たる訓練）の種別を選択してください。

- 1：図上訓練（ブラインド型）
- 2：図上訓練（シナリオ型）
- 3：実動訓練（ブラインド型）
- 4：実動訓練（シナリオ型）
- 5：図上訓練+実動訓練（ブラインド型）
- 6：図上訓練+実動訓練（シナリオ型）



※シナリオ型に一部ブラインド型を採用している

場合は、ブラインド型を選択し、自由記述欄に一部ブラインド型と記入してください。

1～6以外に分類される訓練の場合は、自由記述欄に記入してください。

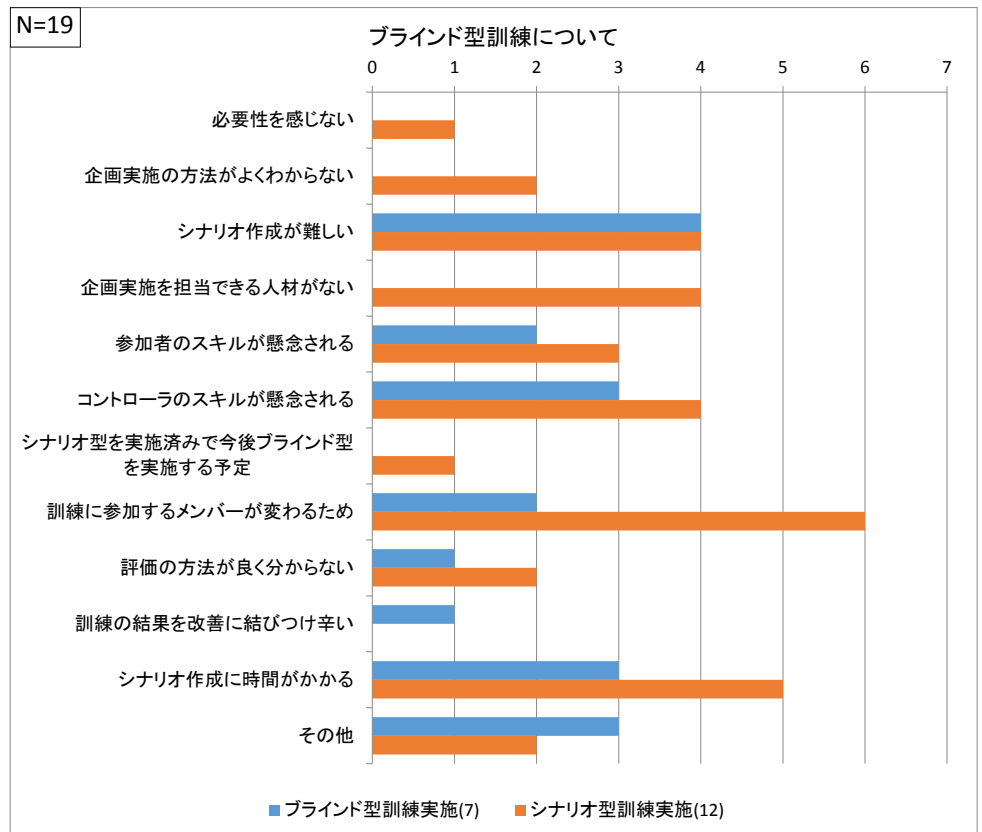
【その他】

- ・ 一部ブラインド型
- ・ 一部ブラインド型（傷病者の状況のみ）
- ・ 県→特定事業所→市消防局→県へのFAX等による情報受伝達を実施し、災害発生時の初動対応（被害状況収集手順）を確認
- ・ 机上訓練
- ・ 図上訓練（ブラインド型）+実動訓練（シナリオ型）

1-6. ブラインド型訓練について

ブラインド型訓練を実施している場合は、実施に際して課題と感じていることを、実施しない場合は実施しない理由を選択してください（複数回答可）。

- 1：必要性を感じない
- 2：企画実施の方法がよくわからない
- 3：シナリオ作成が難しい
- 4：企画実施を担当できる人材がない
- 5：参加者のスキルが懸念される
- 6：コントローラのスキルが懸念される
- 7：シナリオ型を実施済みで今後ブラインド型を実施する予定
- 8：訓練に参加するメンバーが変わるため



- 9：評価の方法が良く分からない
- 10：訓練の結果を改善に結びつけ辛い
- 11：シナリオ作成に時間がかかる

他に何かありましたら、自由記述欄に記入してください。

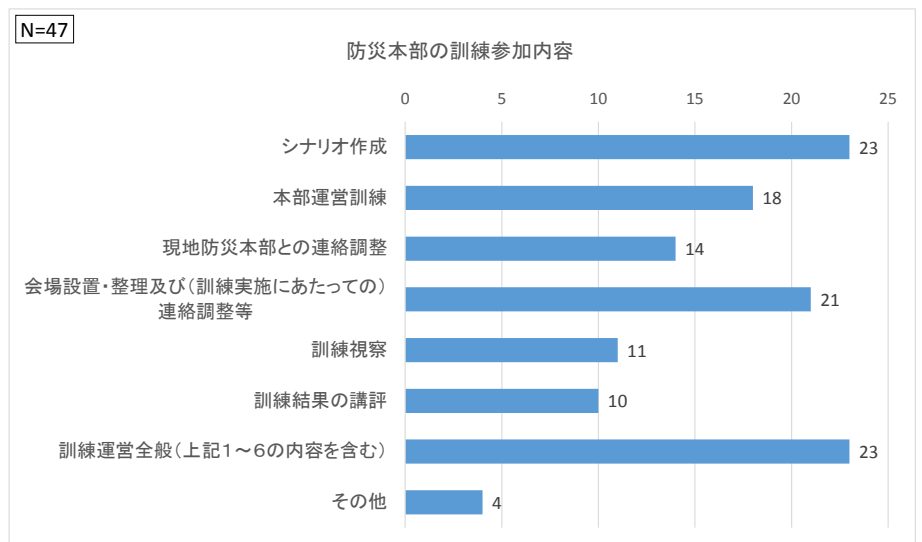
【その他】

- ・ 訓練時間が限られているため、進行に支障が出ない程度のブラインド要素の取入れにとどまっている状況である
- ・ 本訓練実施前に、防災本部事務局員の知識向上及び訓練へ
- ・ 消防などの関係機関等との調整が難しい
- ・ 訓練会場の提供、災害想定及び想定災害への対処等のシナリオ作成は、石油コンビナート等特別防災区域協議会の会員事業所が輪番（8社）で担当している。
- ・ 訓練は、訓練担当事業所が担当事業所の実態に合った災害を想定し、シナリオの作成等を通じて、想定した災害への対処手順を訓練担当事業所に確認させ、災害対応技術の向上を図ることも目的の一つである。
- ・ 訓練担当事業所が輪番により毎年替ること、事業所で訓練を企画する者が本来業務（保安業務）を担いながら担当するなど、（事業所が主体となって）ブラインド型のシナリオ等を作成することは難しい。
- ・ 防災本部の訓練予算が十分に確保されていないこと、訓練を担当する人員が他の業務も兼務していることなど、（防災本部が主体となって）ブラインド型のシナリオ等を作成することも、現時点では、難しい。
- ・ 現地連絡室での訓練に一部ブラインド型を取り入れている
- ・ 一般市民へのPR（防災体制の周知・意識向上）を優先

1-7. 防災本部の訓練参加内容

防災本部（主に道府県職員）の訓練参加内容を下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

- 1：シナリオ作成
- 2：本部運営訓練
- 3：現地防災本部との連絡調整
- 4：会場設置・整理及び（訓練実施にあたっての）連絡調整等
- 5：訓練視察
- 6：訓練結果の講評
- 7：訓練運営全般（上記1～6の内容を含む）



他に訓練参加内容がありましたら、自由記述欄に記入してください。

【その他】

- ・ 2の本部運営訓練は、現地防災本部運営訓練を実施
- ・ 各種会議から参加・参観案内、訓練の実施運営等
- ・ 現地本部を設置するまでの準備段階で設ける現地連絡所における地元市等との連携を確認

「2. 本部運営訓練」を選んだ道府県を抽出し、訓練の実施状況をまとめると次のとおりとなる。

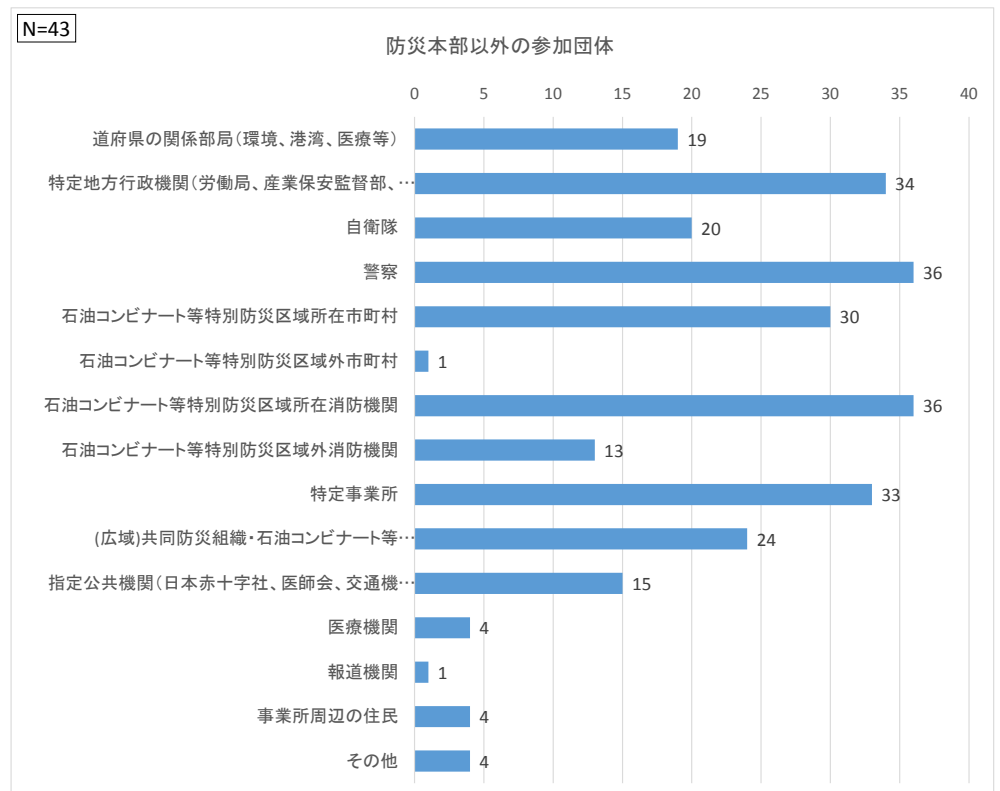
注) 訓練実施状況には、本部運営訓練以外の訓練を含む。

道府県	実施頻度	訓練種別	シナリオ作成	訓練実施状況
北海道	1回/2年	実動(一部ブラインド型)	有	・2年に1回総合防災訓練を実施 ・実災害への対応強化を図るための訓練実施について取り組み中
宮城県	1回/年	図上訓練+実動訓練(ブラインド型) ※一部ブラインド型	有	・年1回総合防災訓練を実施 ・実災害への対応強化を図るための訓練実施について取り組み中
福島県	1回/2年	図上訓練(シナリオ型)	有	・2年に1回総合防災訓練を実施 ・平成29年度は国民保護訓練と共同実施 ・H29は防災本部機能、業務の確認及び対応能力の向上を目的とし、H31は事故発生時の初期措置の確認及び対応能力の向上を目的としている。
茨城県	2回/年	講義形式による机上訓練	—	・年2回講義形式による机上訓練を実施 ・機能訓練形式による実動訓練の実施に向け、防災本部の基本的な機能を習得することを目的として、毎年講義形式による机上訓練を実施する。H30年度には災害対応マニュアルやチェックリストを作成し、全員参加の図上形式による机上訓練の実施を検討する。
千葉県	6回/年	実動訓練(シナリオ型)、 図上訓練(シナリオ型、 ブラインド型)、図上訓練+ 実動訓練(シナリオ型)	一部有	・石油コンビナートを所管する部署(消防課)主催の訓練は年3回実施(総合防災訓練、予知対応型訓練、大容量泡放射システム運用訓練) ・その他、地震災害対応を目的とした訓練にコンビナート災害も含まれるものが年3回(災害対策室主催)
神奈川県	8回/年	図上訓練(ブラインド型)	有	・石コン合同図上訓練、九都県市合同図上訓練を各年1回実施、県災対本部訓練を年6回実施。その他、石コン情報受伝達訓練を年2回実施(H29実績)。 ・他機関との合同訓練を実施し始めた当初は各機関の対応内容の把握を行い、共通認識が得られた後は経年的に訓練内容を高度化していくよう努めている。 ・人事異動等があるため、年度当初に基礎的な訓練を実施したり、訓練前のフォローアップ研修を実施している。 ・ブラインド型の図上訓練を取り入れることで、実践的な対応力の向上を図っている。
福井県	1回/3年	実動訓練(シナリオ型、 ブラインド型)	有	・3年に1回総合防災訓練を実施 ・H27年度は福井国家石油備蓄基地における地震災害、H30年度は「近畿府県合同防災訓練および緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」の一環として福井国家石油備蓄基地における地震災害を想定。
愛知県	2回/年	実動訓練(シナリオ型)、 図上訓練(ブラインド型)	一部有	・実動訓練(シナリオ型)、図上訓練(ブラインド型)を年に各1回実施 ・図上訓練(ブラインド型)においてシナリオ作成、本部運営訓練等を行っている。
三重県	2回/年	図上訓練(ブラインド型)		・年2回図上訓練(ブラインド型)を実施 ・シナリオは防災本部とは別の部署(県災害対策本部運営担当課)で作成している。
香川県	1回/年	実動訓練(シナリオ型)	有	・年1回総合防災訓練(シナリオ型の実動訓練)を実施 ・防災本部においてシナリオ作成
福岡県	1回/年	実動訓練(シナリオ型)、 図上訓練(ブラインド型)	一部有	・年1回総合防災訓練(シナリオ型の実動訓練)を実施 ・H29(ブラインド型図上訓練)は国民保護共同訓練であり、防災本部がシナリオ作成 ・H30(シナリオ型実動訓練)はシナリオ作成、本部運営、現地本部との連絡調整等。
大分県	1回/年	実動訓練(シナリオ型)	有	・年1回総合防災訓練(シナリオ型の実動訓練)を実施 ・防災本部においてシナリオ作成
沖縄県	1回/年	図上訓練+実動訓練(ブラインド型) ※一部ブラインド型		・年1回総合防災訓練を実施 ・ブラインド部分は傷病者の状況のみ

1-8. 参加団体等

防災本部以外の参加団体を下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

- 1：道府県の関係部局（環境、港湾、医療等）
- 2：特定地方行政機関（労働局、産業保安監督部、地方整備局、海上保安本部等）
- 3：自衛隊
- 4：警察
- 5：石油コンビナート等特別防災区域所在市町村
- 6：石油コンビナート等特別防災区域外市町村
- 7：石油コンビナート等特別防災区域所在消防機関
- 8：石油コンビナート等特別防災区域外消防機関
- 9：特定事業所
- 10：(広域)共同防災組織・石油コンビナート等特別防災区域協議会
- 11：指定公共機関（日本赤十字社、医師会、交通機関、ライフライン事業者、通信、報道等）
- 12：医療機関
- 13：報道機関
- 14：事業所周辺の住民



注1) 特定地方行政機関とは、石油コンビナート等災害防止法施行令で定める次の機関をいいます。

沖縄総合事務局、管区警察局、都道府県労働局、産業保安監督部、地方整備局、北海道開発局及び管区海上保安本部

注2) 指定公共機関とは、災害対策基本法に基づき内閣総理大臣が指定する機関（独立行政法人、日本銀行、日本赤十字社、日本放送協会その他の公共的機関及び電気、ガス、輸送、通信その他の公益的事業を営む法人）をいいます。

他に参加した団体名があれば、自由記述欄に記入してください。

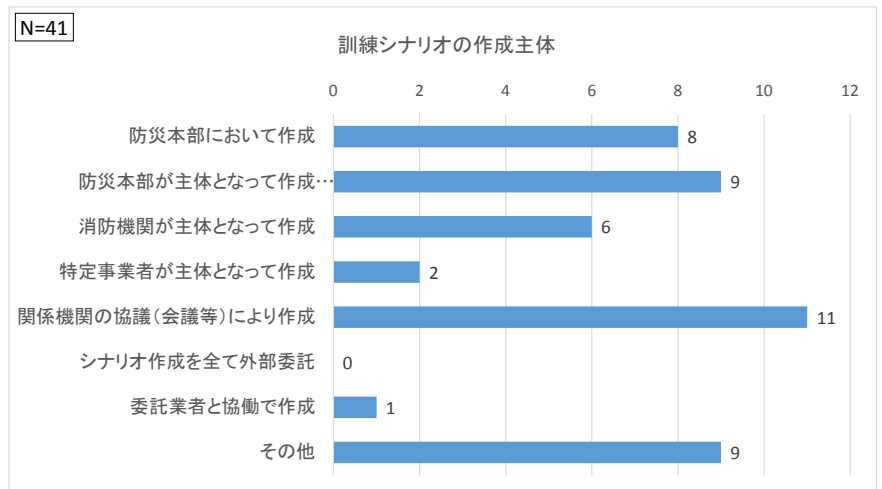
【その他】

- ・ 防災本部構成機関を含む
- ・ 一般社団法人千葉県トラック協会及び会員事業所
- ・ 民間企業（イオン株式会社、株式会社セブンイレブン・ジャパン等）
- ・ 消防団

1-9. 訓練シナリオの作成主体

訓練シナリオの立案に主体的に関わった機関について、下記の中からあてはまるものを選択し、項目番号を記入してください。

- 1：防災本部において作成
- 2：防災本部が主体となって作成
(関係機関へ照会)
- 3：消防機関が主体となって作成
- 4：特定事業者が主体となって作成
- 5：関係機関の協議（会議等）により作成
- 6：シナリオ作成を全て外部委託
- 7：委託業者と協働で作成



他に訓練シナリオ作成に関わった部局名、団体名がありましたら、自由記述欄に記入してください。

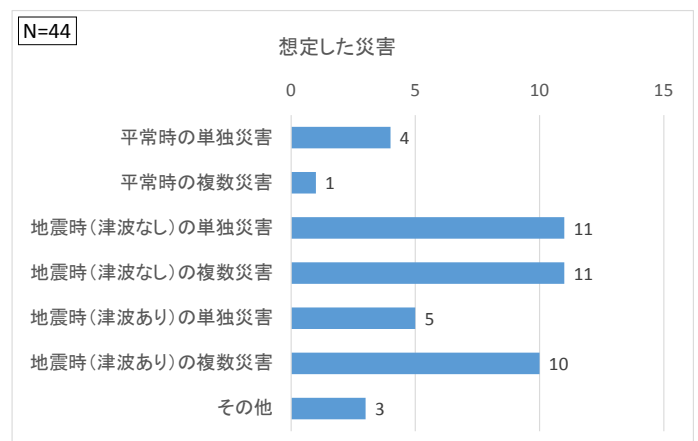
【その他】

- ・ 海上部分は海上保安部が主体となって作成
- ・ 県、市及び消防保安部主体となって作成
- ・ 県災害対策本部運営担当課にて作成している。
- ・ 海上保安庁、県

1-10. 想定した災害

想定災害について、あてはまるものを下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

- 1：平常時の単独災害
- 2：平常時の複数災害
- 3：地震時（津波なし）の単独災害
- 4：地震時（津波なし）の複数災害
- 5：地震時（津波あり）の単独災害
- 6：地震時（津波あり）の複数災害



他に想定した災害がありましたら、自由記述欄に記入してください。

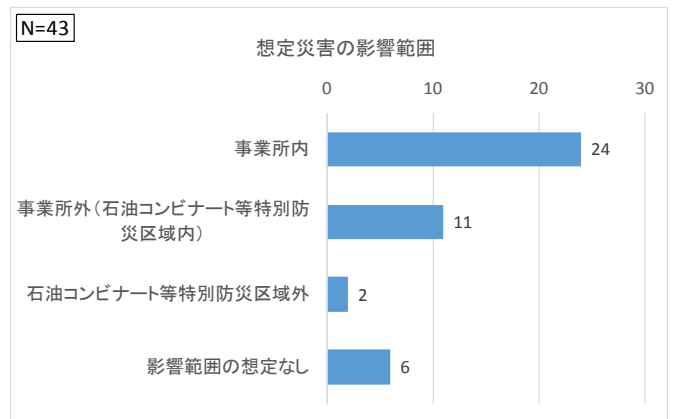
【その他】

- ・ テロ事案発生による爆破事故の発生
- ・ 平日昼間にコンビニート地域で震度5弱以上を観測、津波の発生なし ※特定事業所の災害の有無は想定せず
- ・ 一の事業所において、ガス漏洩及び火災発生並びに危険物の漏洩及び海上への流出

1-1-1. 想定災害の影響範囲

想定災害の影響範囲について、あてはまるものを下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください。

- 1：事業所内
- 2：事業所外(石油コンビナート等特別防災区域内)
- 3：石油コンビナート等特別防災区域外
- 4：影響範囲の想定なし



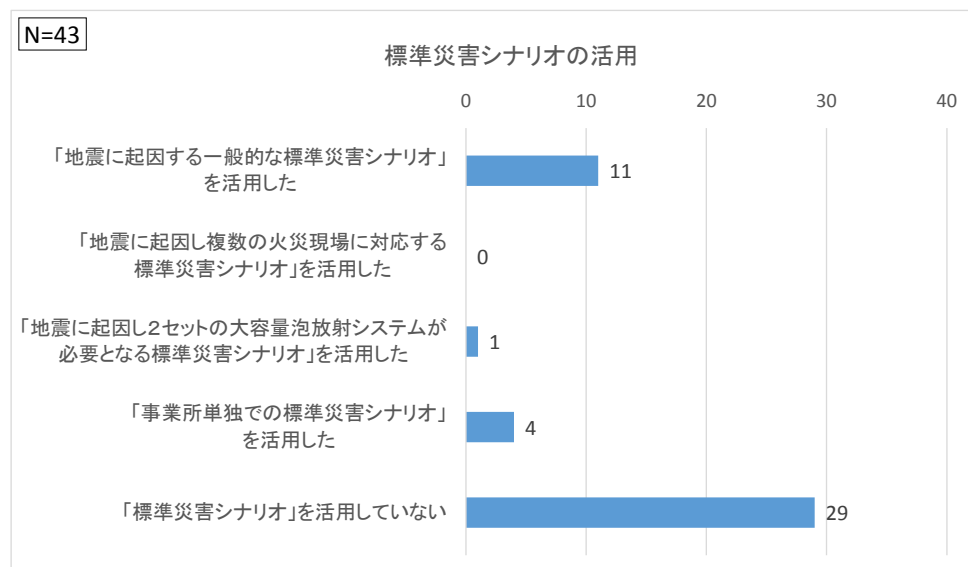
【影響範囲の想定なし】

- ・ “平日昼間にコンビナート地域で震度5弱以上を観測、津波の発生なし”との設定で、情報受伝達訓練を行った。※特定事業所の災害の有無は想定せず
- ・ 訓練方法、目的などから想定のないため

1-1-2. 標準災害シナリオの活用

「石油コンビナート等防災本部の訓練マニュアル(平成28年3月、消防庁)」に例示されている「標準災害シナリオ」の活用について、下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください(複数回答可)。

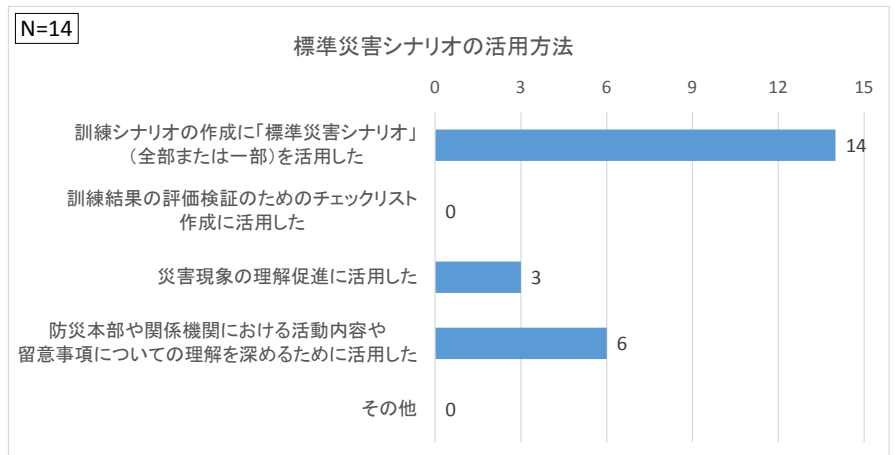
- 1：「地震に起因する一般的な標準災害シナリオ」を活用した
- 2：「地震に起因し複数の火災現場に対応する標準災害シナリオ」を活用した
- 3：「地震に起因し2セットの大容量泡放射システムが必要となる標準災害シナリオ」を活用した
- 4：「事業所単独での標準災害シナリオ」を活用した
- 5：「標準災害シナリオ」を活用していない



1-1-3. 標準災害シナリオの活用（付問①）

設問 1-12 において選択肢「1」～「4」を選んだ場合、「標準災害シナリオ」の活用方法について、下記の中からあてはまるものを選択し、項目番号を記入してください（複数選択可）。

- 1：訓練シナリオの作成に「標準災害シナリオ」（全部または一部）を活用した
- 2：訓練結果の評価検証のためのチェックリスト作成に活用した
- 3：災害現象の理解促進に活用した
- 4：防災本部や関係機関における活動内容や留意事項についての理解を深めるために活用した



1-1-4. 標準災害シナリオの活用（付問②）

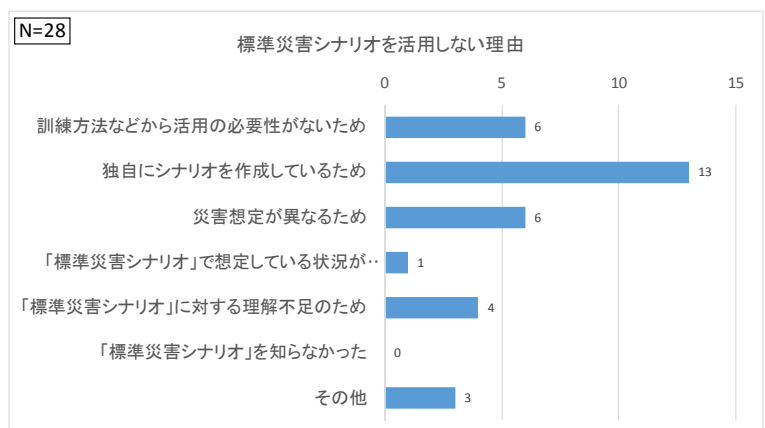
設問 1-12 において選択肢「1」～「4」を選んだ場合、「標準災害シナリオ」を活用する際に工夫した点や、活用にあたっての問題点がありましたら自由記述欄に記入してください。

- ・ 災害進展の時系列作成時に、大変参考になった。
- ・ 過去の災害発生事案や地域の実情に即した訓練内容を心がけ、訓練企画機関が「やりたい」「やり易い」内容となるよう調整した
- ・ 複数の標準災害シナリオを組み合わせて、訓練目的に応じた独自のシナリオを作成した。
- ・ 地震想定標準災害シナリオには周辺情報（市街地の被害、大容量泡放射システムの輸送経路の状況等）が記載されていないため、追加していただきたい。
- ・ 評価の視点が列挙されているが、もう少し内容を一般化したものをチェックリスト形式で示していただくと参考になる。

1-1-5. 標準災害シナリオの活用（付問③）

設問 1-12 において選択肢「5」を選んだ場合、「標準災害シナリオ」を活用しない理由を下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

- 1：訓練方法などから活用の必要性がないため
- 2：独自にシナリオを作成しているため
- 3：災害想定が異なるため
- 4：「標準災害シナリオ」で想定している状況が自分の地域と異なるため
- 5：「標準災害シナリオ」に対する理解不足のため
- 6：「標準災害シナリオ」を知らなかった



他に訓練シナリオを活用しなかった理由がありましたら、自由記述欄に記入してください。

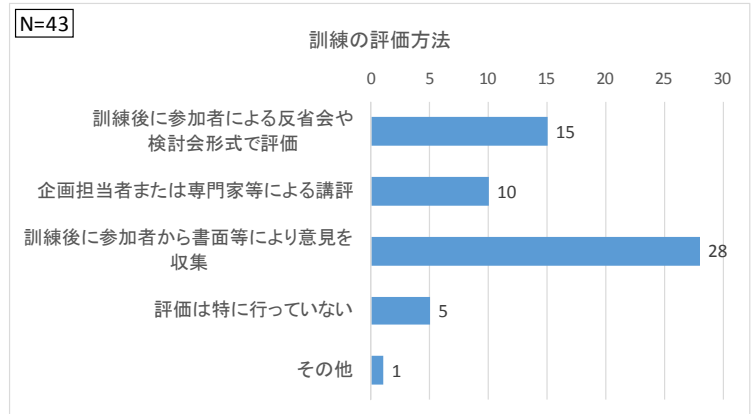
【その他】

- 前回実施時には、標準シナリオがなかった。
- シナリオをそのまま使用しないが、参考にした。

1-16. 訓練の評価方法

訓練の評価方法を下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

- 1：訓練後に参加者による反省会や検討会形式で評価
- 2：企画担当者または専門家等による講評
- 3：訓練後に参加者から書面等により意見を収集
- 4：評価は特に行っていない



他の評価方法がありましたら、自由記述欄に記入してください。

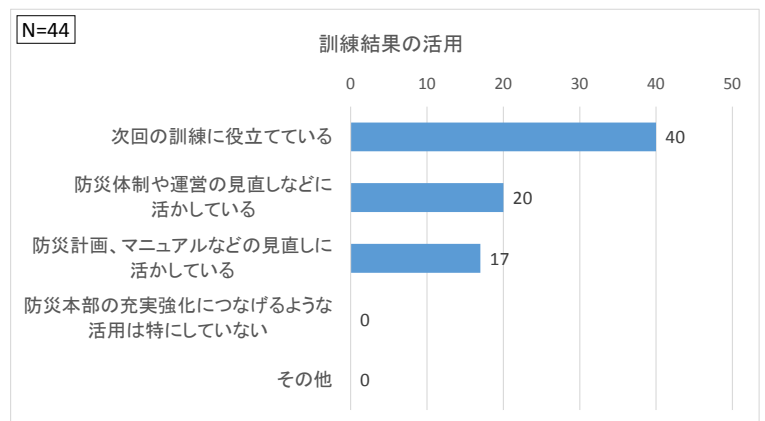
【その他】

- 意見照会を行っている。

1-17. 訓練結果の活用

結果をどのように防災本部の充実強化につなげているか下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

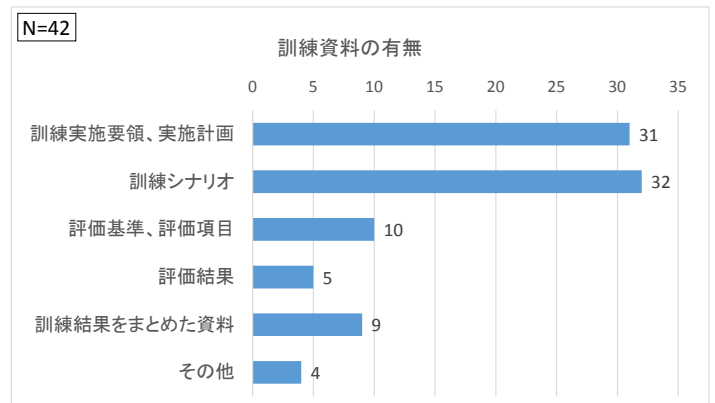
- 1：次回の訓練に役立てている
- 2：防災体制や運営の見直しなどに活かしている
- 3：防災計画、マニュアルなど見直しに活かしている
- 4：防災本部の充実強化につなげるような活用は特にしていない



1-18. 訓練資料の有無

作成、保存している訓練資料を下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください。（複数回答可）

- 1：訓練実施要領、実施計画
- 2：訓練シナリオ
- 3：評価基準、評価項目
- 4：評価結果
- 5：訓練結果をまとめた資料



他に作成、保存している資料がありましたら、自由記述欄に記入してください。

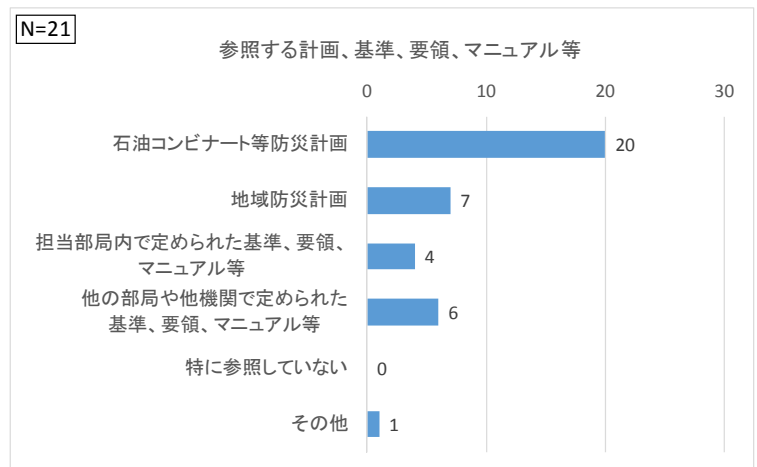
【その他】

- ・ 防災訓練結果及び振り返り（検証）会議の結果は復命書の形で保管
- ・ コンビナート防災本部としては作成、保存していない。

1-19. 参照する計画、基準、要領等

訓練実施にあたって参照する計画、基準、要領、マニュアルなど（訓練実施要領以外のもの）について、下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

- 1：石油コンビナート等防災計画
- 2：地域防災計画
- 3：担当部局内で定められた基準、要領、マニュアル等
- 4：他の部局や他機関で定められた基準、要領、マニュアル等
- 5：特に参照していない



他に参照する基準、要領等がありましたら、自由記述欄に記入してください。

【その他】

- ・ 「千葉県石油コンビナート等防災訓練のあり方について」

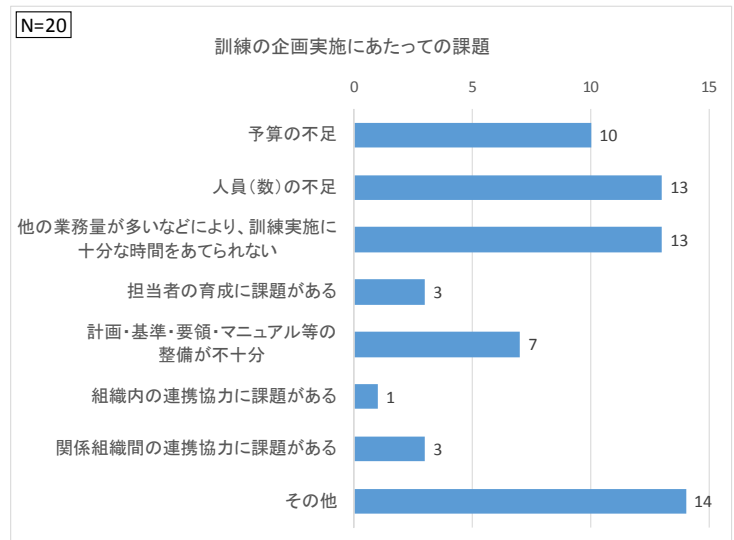
【訓練種別と参照資料の関係】

- ・ 図上訓練（ブラインド型）11件のうち、参照する計画、基準、要領等があったのは1件のみ。
- ・ 実動訓練（シナリオ型）では、計画、基準、要領等を参照している場合が多い。

1-20. 訓練の企画実施にあたっての課題

訓練の企画実施にあたり課題として認識されている事項がありましたら、下記項目の中から選択し(複数回答可)、その内容をご記入ください。

- 1：予算の不足
- 2：人員(数)の不足
- 3：他の業務量が多いなどにより、訓練実施に十分な時間をあてられない
- 4：担当者の育成に課題がある
- 5：計画・基準・要領・マニュアル等の整備が不十分
- 6：組織内の連携協力に課題がある
- 7：関係組織間の連携協力に課題がある
- 8：その他



内容について自由記述欄に記入してください。

【自由記述】

(予算)

- ・ 毎年、予算削減を求められ訓練使用物品の確保が困難である。
- ・ 県の負担を50万円としており、それ以上の支出は実施場所市町の負担となっている。
- ・ そもそも、訓練用の予算が無いため、自前の備品等を活用しなければならない。

(時間)

- ・ 訓練計画、シナリオ等の作成に長時間を要する。
- ・ 通常業務に多くの時間を費やしており、訓練の企画・実施を進める時間・人員の確保が難しい。
- ・ 総合防災訓練の実施も実際の災害対応をする中、調整の時間が思うようにとれない。

(人員)

- ・ 防災本部事務局の訓練担当職員が少数であり、また他の業務と掛け持ちで行っているため負担が大きい。
- ・ 現時点では、訓練の企画要員等に制約があるが、(地震に起因した)複数の火災現場等に対応する事態も考えられるため、今後、図上訓練の実施を検討する必要がある。

(ノウハウ)

- ・ より実践的かつ効果的な訓練とするために、担当者は素養やノウハウの習得が必要となるが、それに充てる時間にも限界がある。
- ・ 防災本部の企画担当者が事務職であるため、専門性に乏しくシナリオの作り込みが困難である。

(マニュアル等の整備)

- ・ 計画・基準・要領・マニュアル等の整備が不十分
- ・ 県では石コン防災計画の見直しなども長期間行なわれておらず、訓練内容も前例踏襲する項目が多い。

(連携協力)

- ・ 石油コンビナート等特別防災区域所在市町村が石油コンビナート等防災本部の訓練に参加する場合、被害想定を大規模地震想定とすると、石コン現地本部の対応よりも災害対策本部としての市街地対応を優先する傾向にあり、訓練へのかかわり方についてもどのようなスタンスで参加するかといった疑問が生じることが多いため、訓練へのかかわり方についての事前調整が必要となる。

- 本県では、平成 29 年度に実施した訓練では、市街地対応は他の部署で対応していることとし、あくまで訓練中はコンビナート地域への対応に焦点を当てた形でチーム編成をしてもらい、訓練に参加してもらった。
- 協議会の幹事事業所が 2 年毎に替わるため、訓練内容を完全なブラインド型に変更するなどの大きく変更しようとするが協議会内部での調整が必要となり、実行に移すことが難しい

1-2-1. 訓練の実効性を高める工夫

訓練が参加者の身に付くように、特に工夫したことがあれば、自由記述欄にご記入ください。

(訓練方法の工夫)

- これまで実施してきた展示型訓練としての活動ではなく、実災害時と同様の連絡体制や出動基準等とする活動となるよう、各機関への意識付けを行った。
- 各機関の活動開始のきっかけを、口頭又は書面による「状況付与」とした。
- 状況付与を受けた者は、その機関内で定められたマニュアル等に基づく連絡や行動をさせた。
- 訓練企画段階で、災害想定背景となる災害規模や地域特性、時間経過等を周知し、訓練参加者に訓練内容の奥にある他関係機関との連携や、活動上考慮すべき点について意識付けを図った。
- ブラインド型の図上訓練を積極的に取り入れることで、実践的な対応力の向上を図っている。
- プレーヤーは、セリフを丸覚えするのではなく、与えられた条件設定をよく理解し、自分の言葉で報告等を行うことを心がけている。
- PDCA サイクルを取入れ、近年の評価検証で出た改善点等を反映させた、より実践的な訓練内容となるようにしている。

(訓練の難易度を配慮した工夫)

- 自機関や関係機関において、毎年人事異動があるほか、コンビナート防災行政に従事している職員の絶対数も少ないことから、多くの機関が参加するほど、訓練内容を経年的にステップアップしていくことが難しくなると考える。そのため、年度当初に基礎的な訓練を実施したり、毎年石コン本部訓練実施前に参加職員に対するフォローアップ研修を実施することで、経年的に徐々に訓練内容を高度化していくよう努めている。
- 他機関との合同訓練を実施し始めた当初、他の防災行政機関が実災害時にどのような対応をとっているかお互いに把握しておらずどのような訓練を行えばよいのか分からなかったため、基礎的な訓練として、一定の災害の進展に対して、各機関がどのような対応をとるのかを発表し合うような訓練を行った。その結果、コンビナート災害への対応についての共通認識を得ることができたと思う。

(関係機関等の連携強化)

- 訓練参加機関の全体会議に加え、個別又は部分的な小会議をなるべく開催して十分な意見交換を行い、参加者や立案者の意識・知識の向上を図ること
- 消防部会、海上部会、航空部会、通信部会等を開催し、関係機関の連携向上を図った。
- 参加するすべての機関で協力しながら訓練計画、シナリオ等を作成する。

2 平成 30 年度実施予定の訓練

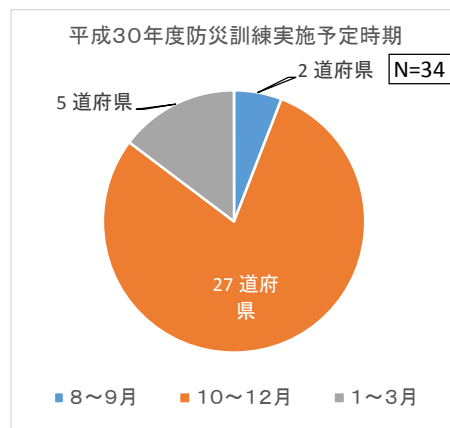
2-1. 実施時期

防災訓練実施予定時期を選択してください。

- 0 : 7～9月
- 1 : 10～12月
- 2 : 1～3月

【実施時期と訓練種別の関係】

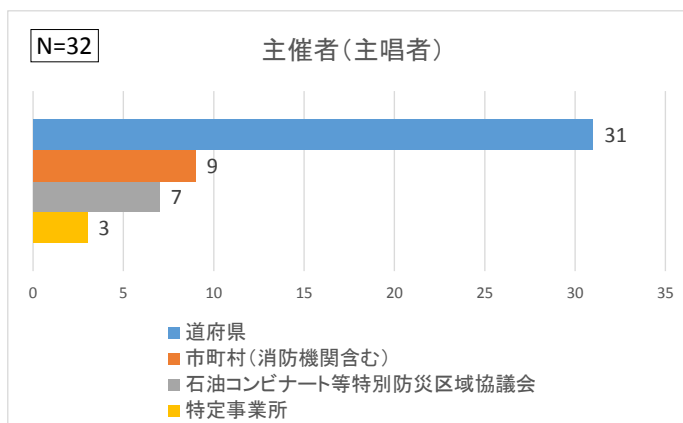
- 10月～12月に実施予定の訓練はすべて実動訓練（シナリオ型）である。



2-2. 主催者（主唱者）

防災訓練主催者を選択してください（複数回答可）。

- 0 : 道府県
- 1 : 市町村（消防機関含む）
- 2 : 石油コンビナート等特別防災区域協議会
- 3 : 特定事業所



【主催者と訓練種別の関係】

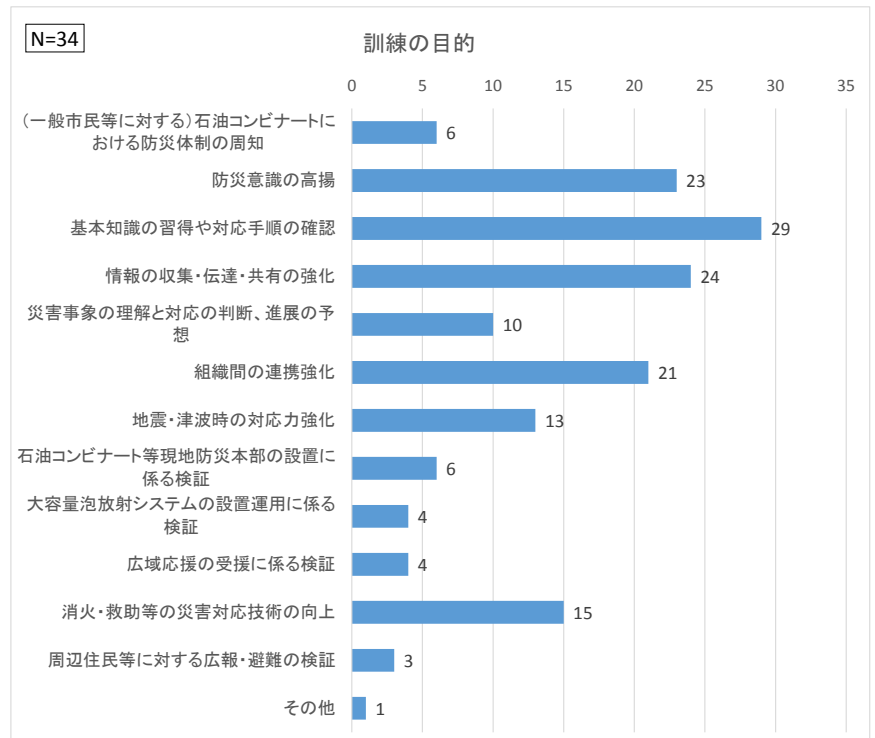
- 道府県は、「図上訓練（ブラインド型）」及び「実動訓練（シナリオ型）」の両方を実施しているのに対して、市町村、石油コンビナート等特別防災区域協議会及び特定事業所は、基本的に実動訓練を実施している。

2-3. 訓練の目的

防災訓練の目的を下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

- 0 : （一般市民等に対する）石油コンビナートにおける防災体制の周知
- 1 : 防災意識の高揚
- 2 : 基本知識の習得や対応手順の確認
- 3 : 情報の収集・伝達・共有の強化
- 4 : 災害事象の理解と対応の判断、進展の予想
- 5 : 組織間の連携強化
- 6 : 地震・津波時の対応力強化

- 7：石油コンビナート等現地防災本部の設置に係る検証
- 8：大容量泡放射システムの設置運用に係る検証
- 9：広域応援の受援に係る検証
- 10：消火・救助等の災害対応技術の向上
- 11：周辺住民等に対する広報・避難の検証



その他の訓練目的がありましたら、以下に記入してください。

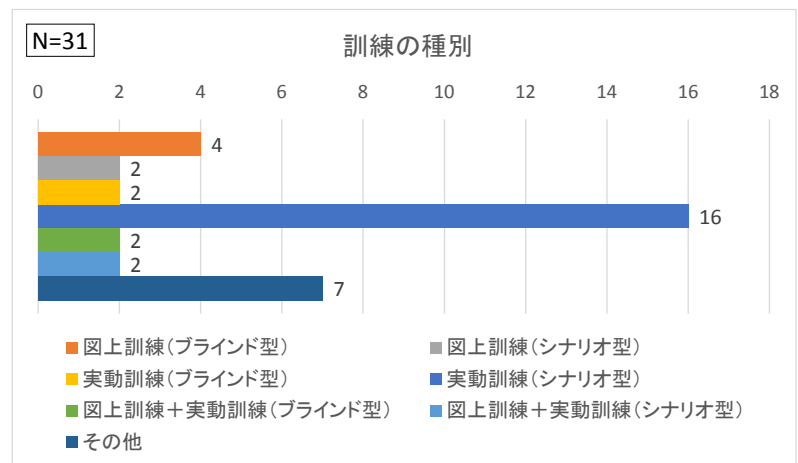
【その他】

- ・ 検討中

2-4. 訓練種別

防災訓練（主たる訓練）の種別を選択してください。

- 0：図上訓練（ブラインド型）
- 1：図上訓練（シナリオ型）
- 2：実動訓練（ブラインド型）
- 3：実動訓練（シナリオ型）
- 4：図上訓練＋実動訓練（ブラインド型）
- 5：図上訓練＋実動訓練（シナリオ型）



0～5以外に分類される訓練の場合は、以下に記入してください。

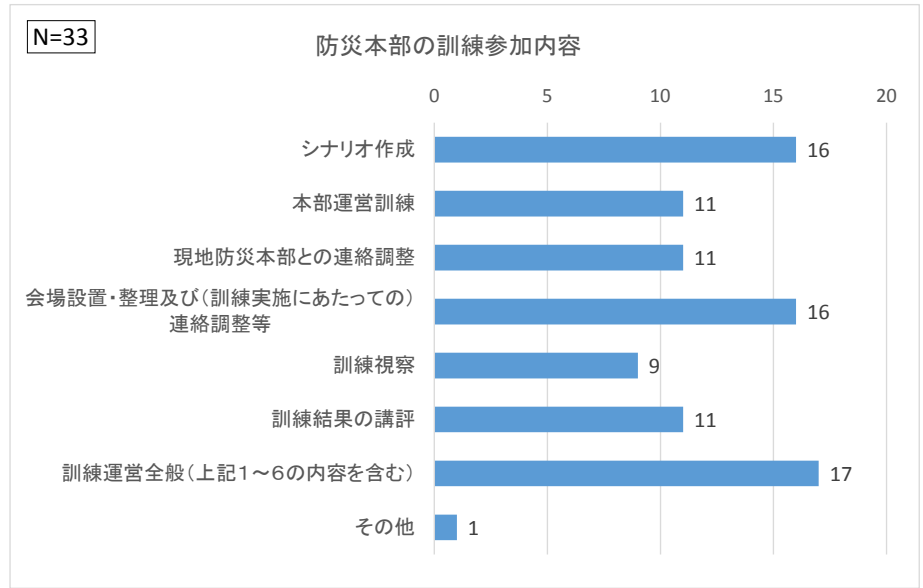
【その他】

- ・ 一部ブラインド型
- ・ 一部ブラインド型（傷病者の状況のみ）
- ・ 机上訓練
- ・ 検討中

2-5. 防災本部の訓練参加内容

防災本部（主に道府県職員）の訓練参加内容を下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

- 0：シナリオ作成
- 1：本部運営訓練
- 2：現地防災本部との連絡調整
- 3：会場設置・整理及び（訓練実施にあたっての）連絡調整等
- 4：訓練視察
- 5：訓練結果の講評
- 6：訓練運営全般（上記0～5の内容を含む）



他に訓練参加内容がありましたら、以下に記入してください。

【その他】

- ・ 各種会議から参加・参観案内、訓練の実施運営等

2-6. 参加団体等

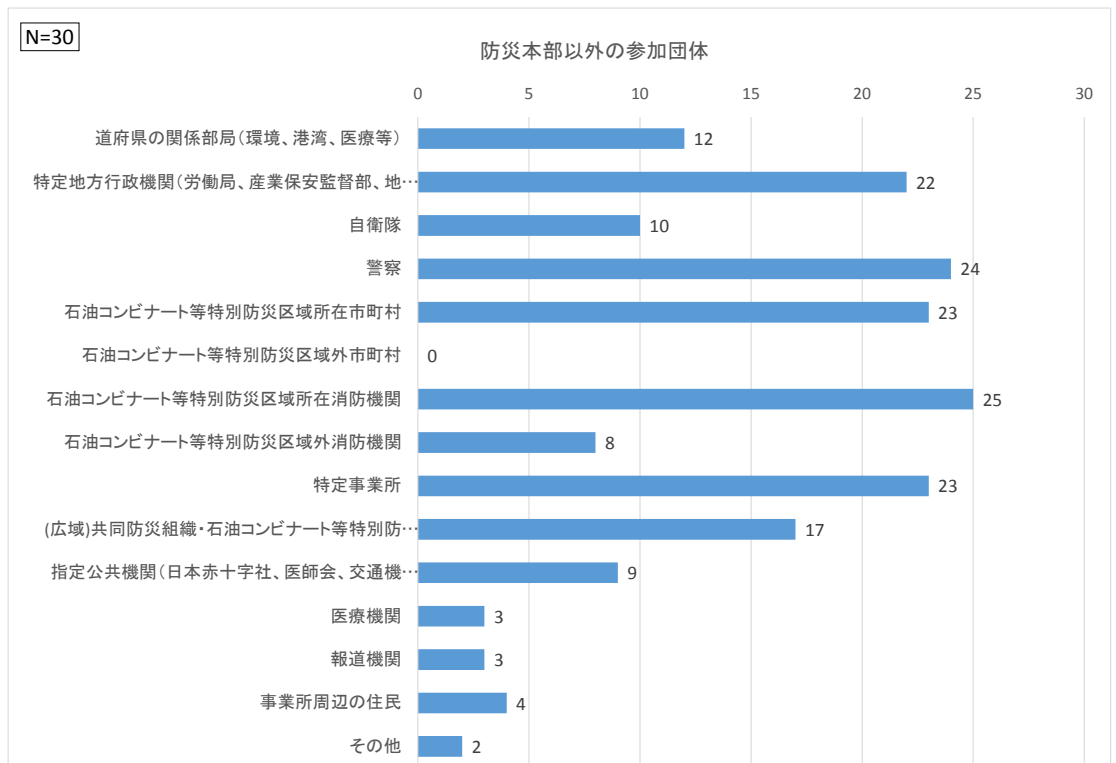
防災本部以外の参加団体を下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください（複数回答可）。

- 0：道府県の関係部局（環境、港湾、医療等）
- 1：特定地方行政機関（労働局、産業保安監督部、地方整備局、海上保安本部等）
- 2：自衛隊
- 3：警察
- 4：石油コンビナート等特別防災区域所在市町村
- 5：石油コンビナート等特別防災区域外市町村
- 6：石油コンビナート等特別防災区域所在消防機関
- 7：石油コンビナート等特別防災区域外消防機関
- 8：特定事業所
- 9：(広域)共同防災組織・石油コンビナート等特別防災区域協議会
- 10：指定公共機関（日本赤十字社、医師会、交通機関、ライフライン事業者、通信事業者、報道機関等）
- 11：医療機関
- 12：報道機関
- 13：事業所周辺の住民

他に参加予定の団体名があれば、以下に記入してください。

【その他】

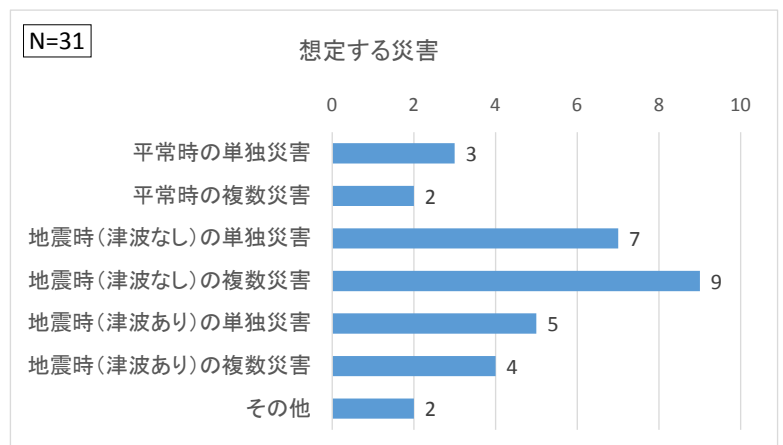
- ・ 一般社団法人千葉県トラック協会及び会員事業所
- ・ 調整中



2-7. 想定する災害

想定災害について、あてはまるものを下記項目の中から選択し、項目番号を記入してください(複数回答可)。

- 0 : 平常時の単独災害
- 1 : 平常時の複数災害
- 2 : 地震時(津波なし)の単独災害
- 3 : 地震時(津波なし)の複数災害
- 4 : 地震時(津波あり)の単独災害
- 5 : 地震時(津波あり)の複数災害



他に想定する災害がありましたら、以下に記入してください。

【その他】

- ・ 調整中
- ・ 一の事業所において、ガス漏洩及び火災発生並びに危険物の漏洩及び海上への流出

2-8. 訓練の実効性を高める工夫

訓練が参加者の身に付くように、特に工夫していることがあれば、ご自由にご記入ください。

(訓練方法の工夫)

- 訓練企画段階で、災害想定背景となる災害規模や地域特性、時間経過等を周知し、訓練参加者に訓練内容の奥にある他関係機関との連携や、活動上考慮すべき点について意識付けを図った。
- PDCA サイクルを取入れ、近年の評価検証で出た改善点等を反映させた、より実践的な訓練内容となるようにしている。
- 石コン防災本部主催の合同図上訓練では、実践的な内容となるよう、周辺に影響が及ぶ可能性の高い災害を想定し、周辺住民の避難に関する各機関の対応を検証することとしている。また、「最悪の状況」を想定した判断や、想定される災害に対して先手を打つことができるようになるために、情報の重要度を意識して整理、受伝達を行うことを予定している。
- さらに、西日本豪雨において、避難情報が住民に適切に伝わらなかったことを踏まえ、マスコミの職員と連携して住民避難に関する訓練を実施することで、現状の課題整理や連携強化を図る。
- プレーヤーは、セリフを丸覚えするのではなく、与えられた条件設定をよく理解し、自分の言葉で報告等を行うことを心がけている。

(関係機関等の連携強化)

- 参加機関の全体会議に加え、個別会議等を開催し、参加者や立案者の意識・知識の向上を図る
- 消防部会、海上部会、航空部会、通信部会等を開催し、関係機関の連携向上を図った。